

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 交通政策課
 担当名: 鉄道担当
 内線: 2228

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P32	駅ホームの転落防止対策推進事業費			一般会計	総務費	企画費	企画調整費	県内既設鉄道整備促進費	
事業期間	平成25年度～令和8年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			針路	09 未来を見据えた社会基盤の創造	SDGsゴール	9, 11
						分野施策	0902 埼玉の価値を高める公共交通網の充実	SDGsターゲット	9-1, 11-2
1 事業の概要	駅ホームからの転落事故等を防止するため、ホームドア及び内方線付き点状ブロックの整備経費を補助し、また、視覚障害者への声かけ・サポート方法の普及啓発を行う。 ア ホームドア設置促進事業 △980千円 補助対象事業費が当初見込みを下回ったことによる減 イ 点状ブロック整備促進事業 △16千円 事務費の節約に伴う減			5 事業説明 (1) 事業内容 ア ホームドア設置促進事業 11,192千円 1日利用者数1万人以上駅等でのホームドアの整備に対する補助を実施する。(4駅) イ 点状ブロック整備促進事業 132千円 (ア) 利用者の多い駅等での内方線付き点状ブロックの整備に対して補助を実施する。 なお、令和5年度は整備計画がないため予算を要求しない。 (イ) 声かけサポート事業を実施する。 (2) 事業計画 ア ホームドア設置促進事業 平成25～29年度 モデル事業として、ホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29年度～ 1日利用者数10万人以上駅等でのホームドア整備に対する補助を実施する。 平成29～令和元年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会競技会場最寄駅でのホームドア整備に対する補助を実施する。 令和2年度～ 1日利用者数1万人以上駅等でのホームドア整備に対する補助を実施する。 イ 点状ブロック整備促進事業 平成25～令和3年度 内方線付き点状ブロックの整備費の補助を実施する。 平成29年度～ 声かけサポート事業を実施する。 (3) 事業効果 ア ホームドア設置を促進する。 イ 視覚障害者の転落事故が減少する。 (4) 補正予算の概要 ア 補助対象事業費が当初見込みを下回ったことによる減額 イ 事務費の節約に伴う減額					
2 事業主体及び負担区分	ア (県)市・その他・事業者 イ (県10/10)								
3 地方財政措置の状況	国庫補助対象事業の地方負担額に特別交付税措置あり								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1.9人=18,050千円								
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△996							△996	10,328
現計額	11,324							11,324	

事業内訳書

事業名	駅ホームの転落防止対策推進事業費		
単位事業名	ホームドア設置促進事業	予算額	△ 980千円

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△980	—	
合計	△980	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△2	—	補助金検査の減
負担金、補助及び交付金	△978	—	市町村への補助金の減
合計	△980	—	

単位事業名	点状ブロック整備促進事業	予算額	△ 16千円
-------	--------------	-----	--------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△16	—	
合計	△16	—	

単位事業名	点状ブロック整備促進事業	予算額	△ 16千円
-------	--------------	-----	--------

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△16	—	声かけ・サポートハンドブック印刷代の減
合計	△16	—	